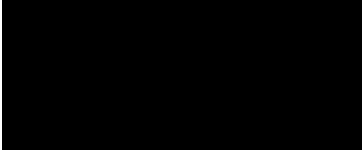
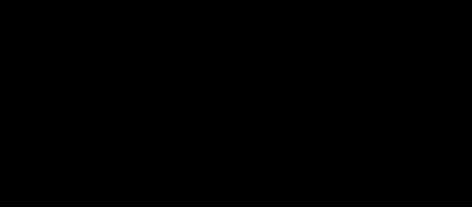

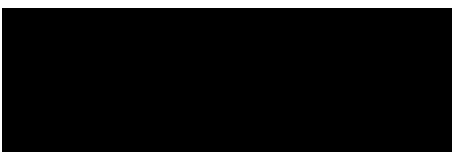


請 願 文 書 表

令和元年6月盛岡市議会定例会（令和元年6月24日）

受理 番号	受理年月日	請 願 の 要 旨	提 出 者 及 び 紹 介 議 員	付 託 委員会
7	R1. 6. 17	こどものおたふく風邪 ワクチン・インフルエ ンザワクチン費用助成 に関する請願	 (紹介議員) 中 村 亨 鈴木 礼子 守 谷 祐志 鈴木 俊祐	教育福祉 常任委員会
8	R1. 6. 17	Jリーグスタジアム基 準を満たすスタジアム を盛岡南公園球技場に 整備することを求める 請願	 ほか1団体 (紹介議員) 遠 藤 政 幸 中 村 亨 鈴木 礼子 村 上 貢 一 伊 達 康 子 守 谷 祐志 鈴木 俊祐	総 務 常任委員会

受理 番号	受理年月日	請 願 の 要 旨	提出者及び紹介議員	付 託 委員会
9	R1. 6. 17	スポーツ界における暴力行為根絶盛岡市宣言に関する請願	 (紹介議員) 遠 藤 政 幸 中 村 亨 鈴 木 礼 子 伊 達 康 子 守 谷 祐 志 鈴 木 俊 祐	総 務 常任委員会
10	R1. 6. 17	サッカーグラウンドの整備に関する請願	 (紹介議員) 遠 藤 政 幸 中 村 亨 鈴 木 礼 子 村 上 貢 一 伊 達 康 子 鈴 木 俊 祐 守 谷 祐 志	総 務 常任委員会

こどもの

おたふく風邪ワクチン・インフルエンザワクチン費用助成に関する請願

【紹介議員】

甲村亨
鈴木礼子
寺谷祐志
鈴木俊祐

請願第 7 号



盛岡市議会 議長 天沼 久純 様

こどもの

おたふく風邪ワクチン・インフルエンザワクチン費用助成に関する請願

【請願趣旨】

おたふく風邪はムンプスウイルスの感染によっておこり、様々な合併症を併発し後遺症を残すことがあります。ムンプスウイルスは広く全身の臓器に感染し、中でも唾液腺・脾臓・睾丸等の腺組織や、髄膜・内耳等の中樞神経系に感染を生じやすいと言われています。

ムンプスウイルスが内耳に感染しておこるムンプス難聴の発生頻度は、200～400人のムンプス患者に対して1人と報告されていて、決して低くはありません。日本耳鼻咽喉科学会は2015年からの2年間に、少なくとも336人が「ムンプス難聴」を発症し、そのうち14人が両側の高度難聴だったと発表しました。

ムンプスはワクチンで防ぎ得る病気ですが、罹ってしまったムンプスに対する特效薬はありません。引き起こされたムンプス難聴にも有効な治療法はありません。

おたふく風邪は、5～6年ごとに大規模な流行が繰り返されているのが現状です。おたふく風邪ワクチンは任意接種で、予防接種率が30～40%と低迷しています。早急に定期接種化すること、それまでは自治体でワクチン接種助成を実施することで接種率を高く維持し大流行が起こることを防ぐことが可能になります。近隣自治体では矢巾町、紫波町はすでに一部助成しています。

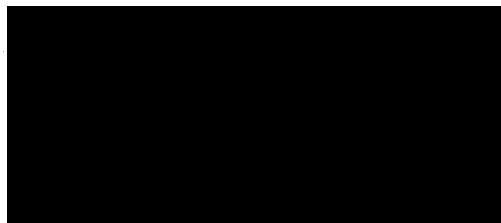
インフルエンザワクチンについては、盛岡市独自の助成制度として、中学生まで1回につき2,000円と拡充されましたが、まだ十分といえる状況ではありません。

以前から子育て世代・孫育て世代からは、おたふくかぜワクチン、インフルエンザワクチン助成について強い要望がありますが、世界的にみて日本はワクチン後進国になっています。子どもの健康を守るため、以下について要望します。

【請願項目】

1. おたふく風邪予防ワクチンに対して市として早急に助成を行ってください。
2. おたふく風邪予防ワクチン定期接種化の早期実現を国に働きかけて下さい。
3. インフルエンザ予防ワクチンへの助成をさらに増額してください。
4. インフルエンザ予防ワクチンの助成対象年齢を18歳まで拡大してください。

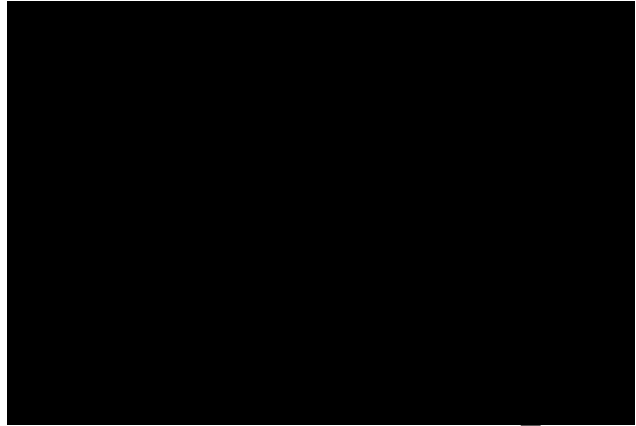
令和1年6月17日



令和元年6月17日

盛岡市議会議長 天沼久純 様

代表



Jリーグスタジアム基準を満たすスタジアムを盛岡
南公園球技場に整備することを求める請願

紹介議員

遠藤政幸

平 村 亨

鈴木礼子

村上貢一

伊達康子

寺谷祐志

鈴木俊祐

請願第 8 号



スポーツ界における暴力行為根絶盛岡市宣言に関する請願

請願の趣旨

盛岡市の全てのスポーツ界から暴力・暴言・パワーハラスメント等がなくなり、誰もが安心してスポーツ活動に参加或いは子ども達を参加させられる、素晴らしいスポーツ環境を創っていくために、スポーツ界における暴力行為根絶を謳う盛岡市宣言を発することに関して請願いたします。

請願の理由

スポーツは夢と希望を与えてくれる大きな力を持っています。スポーツを通して子どもたちや青少年は心と体を育み人間性を豊かにしていきます。スポーツは、障がいの有無や男女・年齢の違いを超えて、喜びと感動を分かち合い、絆を共有することを可能とする素晴らしい場です。

しかし大変残念なことに、近年、スポーツ界やその指導現場における暴力・暴言・パワーハラスメント等の問題が多面で顕在化し、若者が自ら命を絶つ事件も生じています。そしてそれは、私達のごく身近なところでも起きています。そのような報道を見聞きするたびに胸が痛み、なぜこのような問題は起きるのか、スポーツ環境は健全で明るいものであるためには何が必要で私達に何ができるのかを考え、学習会を開催して学んで参りました。

このような問題が繰り返されないためには、「スポーツ界において暴力・暴言・パワーハラスメントは絶対にあってはならない。暴力等を正当化したり容認したりする誤った考えはスポーツの価値に相反するものとして一掃しなければならない。」という強い意識を全ての人が共有する必要があります。これは、個人の問題を超えて地域社会全体で真剣に取り組むべき課題であり、地域社会全体で意識を変革していかなければ改善できないものと考えます。

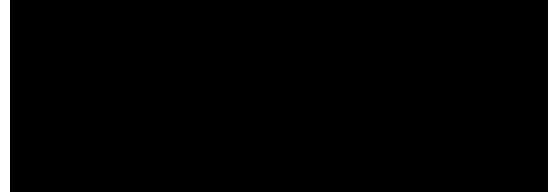
盛岡市は、様々なスポーツの場を創設・提供して、私達はそれを享受しております。さらによりよいスポーツ環境を創りあげ、誰もが安心してスポーツ活動に参加し、子ども達をスポーツの場に安心して参加させられるような盛岡市であることを切に願います。

以上のことから、スポーツ界における暴力行為根絶を謳う盛岡市宣言を発していただけますよう請願いたします。

平成 31年 6月 17日

盛岡市議会議長 天沼久純様

請願者



紹介議員

遠藤政幸

紹介議員

中林亨

紹介議員

鈴木礼子

紹介議員

村上貢一

紹介議員

伊達康子

紹介議員

鈴木俊祐

紹介議員

守谷祐志

請願第 10 号



サッカーグラウンドの整備に関する請願

《 請願の趣旨 》

盛岡市サッカー協会は、昭和57年4月1日に発足し盛岡広域圏で活動しているサ

サッカー団体及びサッカー愛好者相互の連絡・強調を図るとともにサッカー競技の普及及び技術の向上を期し、サッカーによるスポーツ精神の涵養と健康維持増進に努めることを目的として各種事業を進めております。

発足以来37年間、盛岡市体育協会等の関係団体の御協力をいただきながら盛岡市民体育大会をはじめとする各種大会を開催してきており、キッズ、スポーツ少年団、中学生、高校生、一般、シニアといったあらゆる年代がスポーツを楽しみながら継続し、生涯スポーツを通じた健康増進を推進することにより健康長寿社会の一助になればと考えております。

さて、盛岡市によるスポーツを楽しむ施設の整備につきましては、全国高等学校総合体育大会、国民体育大会等の開催を期にグラウンド等の整備に御尽力いただいておりますが、各カテゴリーでの競技大会数、特にスポーツ少年団の大会が増えており、グラウンドの確保が困難になってきているのが現状です。現在、盛岡市内のサッカーに関するスポーツ少年団は25団体、加入者は約900人と、5年前と比較して団体数について1団体増え、加入者について約50人の減少となっており、活動規模は横ばい状態にあります。

また、各カテゴリーの一定規模以上の競技大会を開催する場合、大会運営及び選手等の負担を考慮すると、2面のグラウンドが集約して設置されていることが重要です。人口規模が盛岡市より小さい県内の他都市においては、例えば遠野市においてはグラウンドが6面、奥州市においてはグラウンドが6面整備されており、また、人口規模が盛岡市と同程度の全国の中核市においては、例えば前橋市においてはグラウンドが9面、鹿児島市においてはグラウンドが13面整備されております。

盛岡市においても、盛岡南公園球技場及び高松多目的広場にグラウンド2面が、つなぎ多目的運動場グラウンドが1面ずつ整備されており、また、岩手県営運動公園にもグラウンドが2面整備されておりますが、盛岡南公園球技場は天然芝であるために1日に実施することができる試合数に制限があり、また、いわてグルージャ盛岡のホームスタジアムであるために、週末の利用が限定されております。よって、大会の開催及び日常のサッカー愛好者の活動場所として、市内にさらなるサッカー用グラウンドの整備が必要と考えます。

つきましては、サッカー用グラウンドの整備をお願いいたします。

《 請願事項 》

日本サッカー協会公認基準に適合するサッカー用グラウンド(2面)を用具を保管する倉庫及び更衣室(トイレ含む)並びに駐車場の整備をお願いします。